

ずっと先まで、明るくしたい。



九電グループサステナビリティ報告書2019 ダイジェスト

SUSTAINABILITY REPORT 2019 DIGEST



ずっと先まで、明るくしたい。





九電グループは、地域・社会の課題解決に取り組むCSR経営を通じて「持続可能な社会の実現」に貢献し、信頼され選ばれ続ける企業を目指します。

九州電力株式会社 代表取締役 社長執行役員 **池辺 和弘**

九電グループは、「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランドメッセージとする「九電グループの思い」のもと、低廉で良質なエネルギーをお客さまへ安定してお届けすることを通じて、お客さまの生活や経済活動を支え、九州とともに成長してきました。

一方、国内外では経済・社会・環境面での社会的課題が多様化・複雑化する中で、その解決に向けた企業への期待も大きくなっています。

こうした中、九電グループがどのような貢献ができるかを示し、地域とともに発展・成長していくという私たちの姿勢を発信するため、「九電グループ経営ビジョン2030」を策定しました。

今後、このビジョンの実現に向け、様々な事業活動に挑戦していきますが、幅広い社会的課題の解決に繋げていくためには、これまで以上にステークホルダーの皆さまからの期待・要請をしっかりと受けとめ、CSR経営を充実させていくことが重要と考えています。

CSR経営の充実にあたって

近年、国際社会全体の持続可能な開発目標として国連で採択されたSDGsや、企業の環境等への配慮を評価するESG投資など、地球規模で「持続可能な社会の実現」に向けた取り組みへの期待が高まっています。

国内においても、人口減少や少子高齢化の進行に加え、都市部への一極集中により社会的・経済的な地域格差が拡大するなど、様々な課題が深刻化しつつあります。

このような経営環境の変化を踏まえ、SDGsなどから幅広く抽出した社会的課題のうち、ステークホルダーの皆さまからの期待・要請を最優先に考えた「エネルギーサービスを通じた、持続可能な社会の実現」「地域特性を活かした、九州の持続的な発展」「チャレンジし続ける人材・組織づくり」を柱とするCSRの重要課題の解決に向けて、グループ一体となって取り組みを充実させていきます。

「持続可能な社会の実現」を目指して

重要課題の中には、これまでのCSRの取り組み領域を越え、新たな挑戦が必要なものもあります。引き続き、環境に優しいエネルギーをお届けしていくことに加え、九州各地を拠点とする地場企業として、地域の皆さまと一緒に汗をかき、知恵を絞りながら、新たな課題の解決に積極的にチャレンジします。

九電グループは、地域の皆さまと一緒に「九州から未来を創る」ことで、「持続可能な社会の実現」に貢献し、信頼され選ばれ続ける企業を目指してまいります。

2019年6月

九電グループ経営ビジョン2030

2030年の
ありたい姿 **九州から未来を創る九電グループ**
～豊かさや快適さで、お客さまの一番に～

- | | |
|------------|---|
| 戦略Ⅰ | エネルギーサービス事業の進化
低炭素で持続可能な社会の実現に挑戦し、より豊かで、より快適な生活をお届けします。 |
| 戦略Ⅱ | 持続可能なコミュニティの共創
九州各県の地場企業として、新たな事業・サービスによる市場の創出を通じて、地域・社会とともに発展していきます。 |
| 戦略Ⅲ | 経営基盤の強化
経営を支える基盤の強化を図り、九電グループ一体となって挑戦し、成長し続けます。 |

九電グループのCSRの取組み

九電グループは、ステークホルダーからの期待が特に高い課題を「CSR重要課題」として特定し、その解決に向けて積極的に取り組むことで、持続可能な社会の実現を目指します。

持続可能な社会の実現



社会的課題の解決

CSRの取組みの3本柱
(関連するCSR重要課題)

エネルギーサービスを通じた、持続可能な社会の実現
(「CO₂排出量の抑制」など、計5項目)

地域特性を活かした、九州の持続的な発展
(「地場産業の振興と雇用創出」など、計5項目)

チャレンジし続ける人材・組織づくり
(「イノベーションの創出」など、計4項目)

九電グループ経営ビジョン2030

グループ理念「九電グループの思い」
～ずっと先まで、明るくしたい。～

SDGsへの対応

九電グループは、CSRの取組みを通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

SDGs(Sustainable Development Goals)

2015年に国連サミットで採択された、国際社会全体の「持続可能な開発目標」であり、2030年を期限とする17の目標で構成されています。



エネルギーサービスを通じた、持続可能な社会の実現

お客さまの生活や経済活動に欠かすことのできないエネルギーを、これからも安定してお届けしていきます。そして、エネルギー情勢やお客さまニーズの多様化などの環境変化を先取りし、エネルギーサービスを進化させていきます。

〔CSR重要課題〕	〔主な取組み〕	〔関連する主なSDGs〕	
CO₂排出量の抑制	<ul style="list-style-type: none"> 原子力発電の活用によるCO₂排出抑制 火力発電の高効率化 省エネルギーの推進 など 	 	高効率の松浦発電所2号機
再生可能エネルギーの開発・受入れ	<ul style="list-style-type: none"> 地熱・水力発電等の開発 再エネの受入れ拡大に向けた大容量蓄電池や関門連系線の活用 など 	  	 鴨猪水力発電所 (2018年9月営業運転開始)
電力の安定供給	<ul style="list-style-type: none"> 非常災害への対応 供給信頼度の維持 燃料調達力の強化 など 	  	 「平成30年台風24号」停電復旧対応
原子力発電所の安全・安定運転	<ul style="list-style-type: none"> 原子力発電所の更なる安全性・信頼性向上 原子力訓練 住民の皆さまの避難等に対する支援 など 	   	 代替緊急時対策所での原子力訓練
お客さまのニーズ・課題を踏まえたエネルギーサービス	<ul style="list-style-type: none"> ニーズに応える料金プラン・サービス グループの多様な商品・サービスによる地域・社会の課題解決 など 	 	 少子高齢化の解決につながる「すくすく赤ちゃんプラン」

地域特性を活かした、九州の持続的な発展

これまで「九州の発展なくして、九電グループの発展なし」を合言葉として、九州とともに成長してきました。これからも、九州が抱える課題に対して真摯に向き合い、地域特性も踏まえた解決に挑戦していきます。

〔CSR重要課題〕

〔主な取組み〕

〔関連する主なSDGs〕

地場産業の振興と雇用創出

- 一次産業の振興
- 企業誘致
- 伝統工芸支援 など



農業向けITセンサー「MIHARAS」

九州地域の交流人口の拡大

- 都市開発事業
- 空港運営事業
- 観光資源としての電力インフラの活用 など



宮崎県でのインフラツーリズム
(上椎葉ダム点検通路歩行体験)

生物多様性の保全

- 地域の皆さまとの協働による環境保全活動
- 周辺環境に配慮した設備形成
- 河川の濁水軽減対策 など



地域の皆さまと環境保全に取り組む
「こらぼらQでんeco」(海岸清掃活動)

お年寄りや子どもにもやさしい社会への貢献

- 次世代育成支援活動
- ICT技術を活用したお年寄りや子どもたちの見守りサービス など



九電みらい財団による次世代育成支援活動(いとしま手伝い隊)

安全で強靱なまちづくり

- お客さまの安全確保
- 無電柱化の推進
- グループ会社商品を活用した被災地の復旧支援 など



完全自己処理型水洗トイレ
「トワイレ」

チャレンジし続ける人材・組織づくり

九電グループの歴史を作ってきた原動力はチャレンジ精神でした。

地域・社会を取りまく環境が大きく変化する中、この変化を機会ととらえて、これからもチャレンジし続けます。

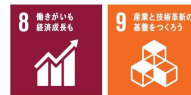
〔CSR重要課題〕

〔主な取組み〕

〔関連する主なSDGs〕

イノベーションの創出

- KYUDEN i-PROJECT
- プロジェクトから生まれた案件の事業化検討 など



オリジナル音声AIを活用したIoTサービス「QuUn(キューン)」

人材育成

- 従業員の能力向上
- 技術力の維持継承 など



九電グループ一体となった人材育成「集合セッション」

働きやすい職場づくり

- ワーク・ライフ・バランスの充実
- 働き方改革
- 健康経営 など



働き方改革の推進に向けた「九電働き方改革フェスタ」

コーポレート・ガバナンスの実効性の確保

- 「内部統制の基本方針」の整備・運用状況の評価
- 監査等委員会設置会社への移行 など



コンプライアンス経営の実施状況をモニタリングする「コンプライアンス委員会」

事業活動の基盤となる取組み

- ステークホルダーとのコミュニケーション
- ダイバーシティの推進
- グループ一体となった安全の取組み推進
- 情報セキュリティ・個人情報保護
- コンプライアンスの推進
- 人権の尊重 など

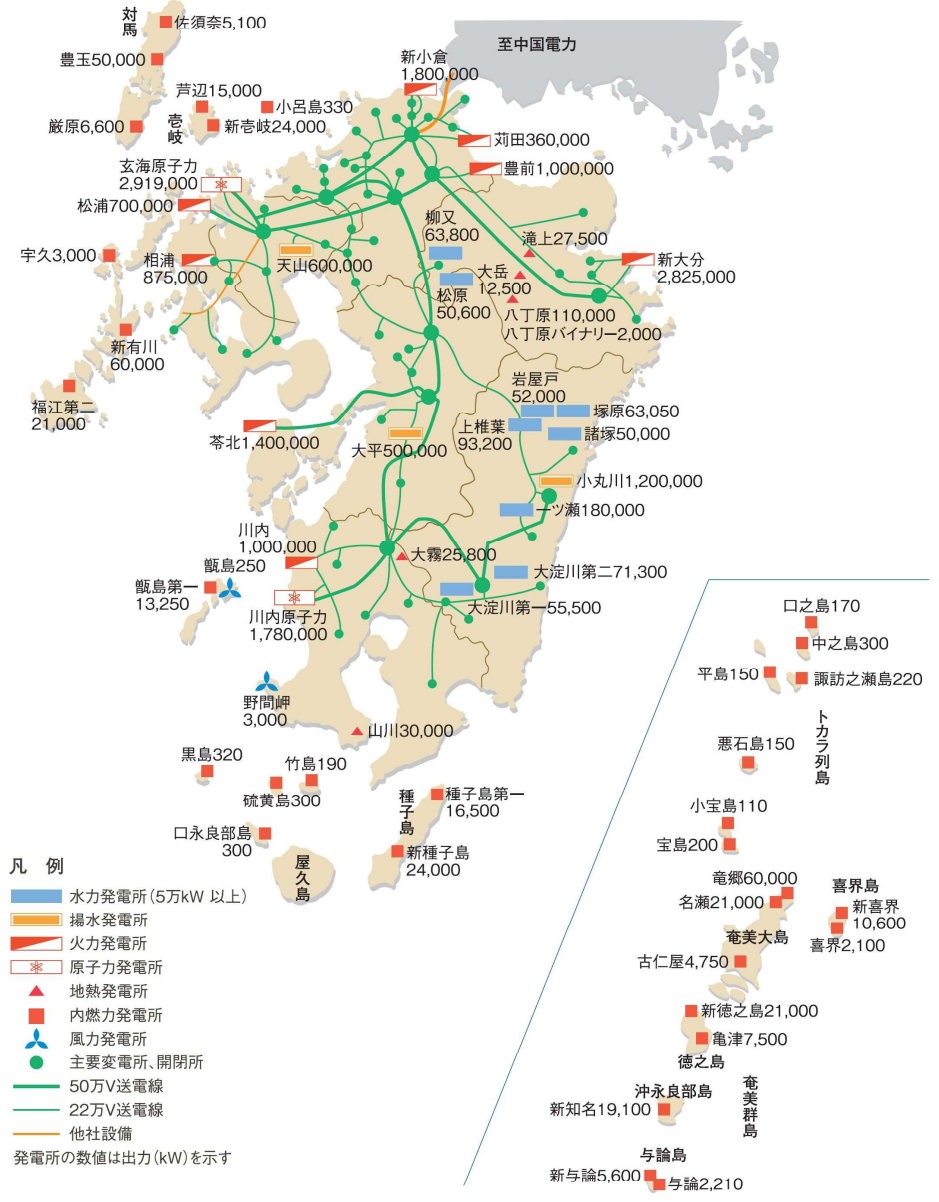
九州電力の概要 (2019年3月末現在)

設立年月日	1951年5月1日
資本金	2,373億円
株主数	普通株式 136,683名 A種優先株式 1名
供給地域	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、 熊本県、宮崎県、鹿児島県
売上高	18,671億円
総資産額	42,788億円
従業員数	12,947名

電力供給設備

水力発電	143か所	358.0万kW
火力発電	8か所	996.0万kW
地熱発電 (バイナリー含む)	6か所	20.8万kW
内燃力発電 (ガスタービン含む)	33か所	39.5万kW
原子力発電	2か所	469.9万kW
風力発電	2か所	0.3万kW
自社計	194か所	1,884.5万kW
他社計	—	1,097.4万kW
発電設備合計	—	2,981.9万kW

送電線路こう長	10,803km
配電線路こう長	142,223km
変電所	597か所 7,509.2万kVA



サステナビリティ報告書



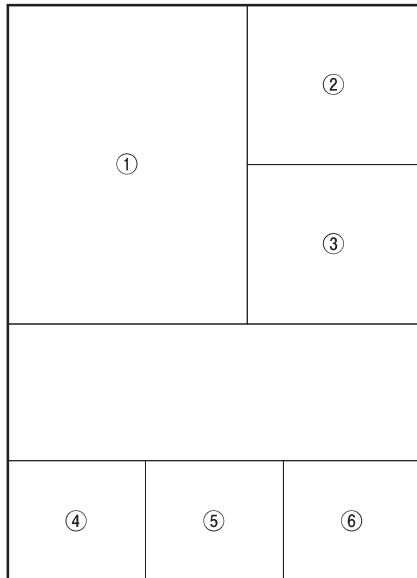
- CSRの取組み全般を詳細にご紹介しています
(2019年6月末頃、当社ホームページに掲載予定)

九州電力CSR

検索



表紙について



- ①佐賀平野の鉄塔
(当社公式Instagramに掲載)
- ②九州と本州を結ぶ「関門連系線」の昇塔訓練
(当社送電部門の新入社員研修)
- ③近隣幼稚園の子どもたちとのジャガイモ掘り体験
(苅田発電所構内の環境施設農園)
- ④初夏の扇ヶ鼻〔大分県竹田市〕
(九電みらい財団第1回Instagramフォトコンテスト金賞受賞作品)
- ⑤当社各営業所で行っているIH体験講座
- ⑥紅葉の上椎葉ダム〔宮崎県東臼杵郡〕
(当社公式Instagramに掲載)

- 九州電力公式Instagramでは、「九州の夜景・灯りのある風景」「電気が生まれる・繋がる風景」「九州の自然・風景・祭り」をテーマとした写真をお届けしています。

九州電力
公式Instagram
ページはこちら



- 九電みらい財団公式Instagramでは、活動時に撮影した写真や、フォトコンテストの応募作品などをご紹介します。

九電みらい財団
公式Instagram
ページはこちら



配布事業所



■CSRの取組みに関するご意見・お問い合わせ先
九州電力株式会社 ビジネスソリューション統括本部
地域共生本部 総務計画・CSRグループ
〒810-8720 福岡市中央区渡辺通2-1-82
TEL:092-726-1596 FAX:092-711-0357
E-mail:csr@kyuden.co.jp